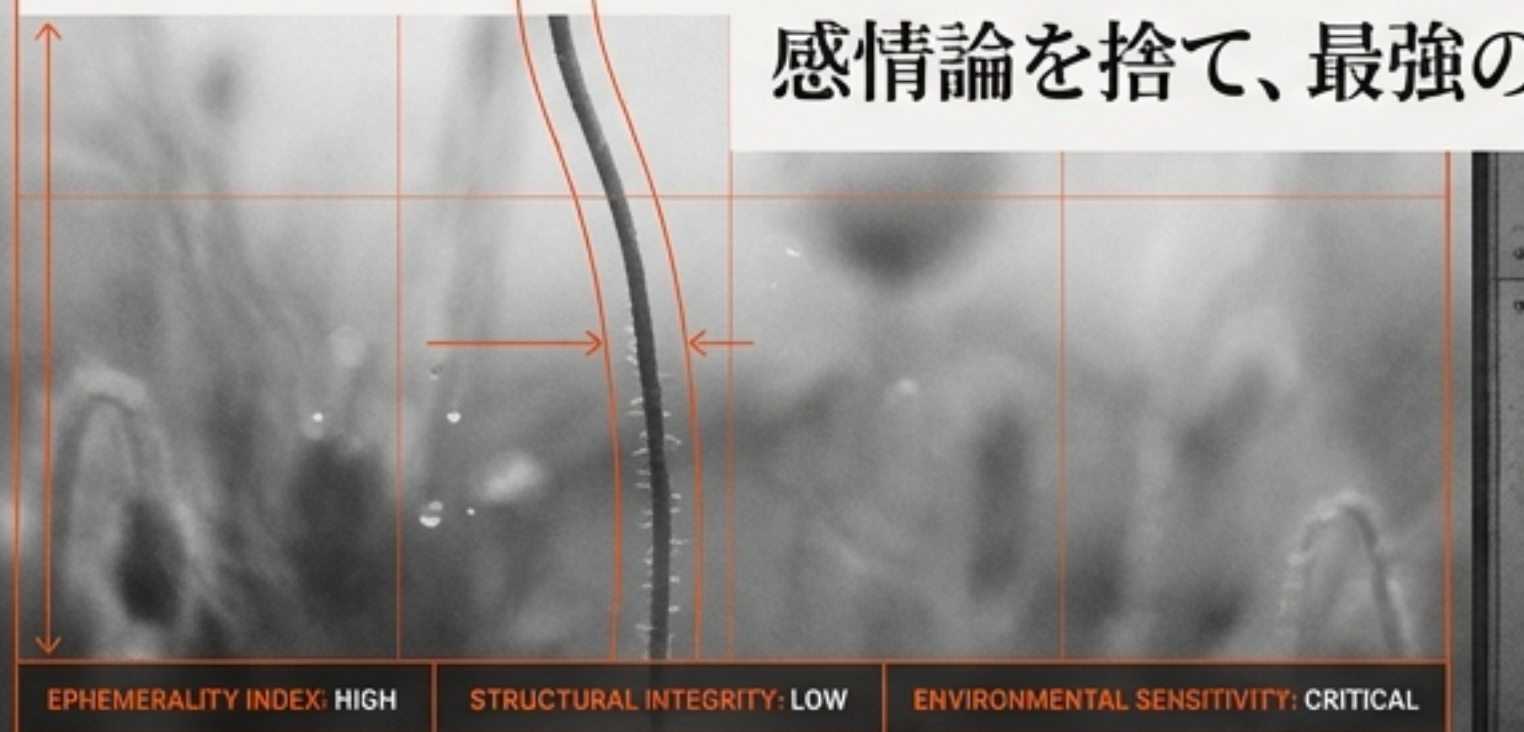




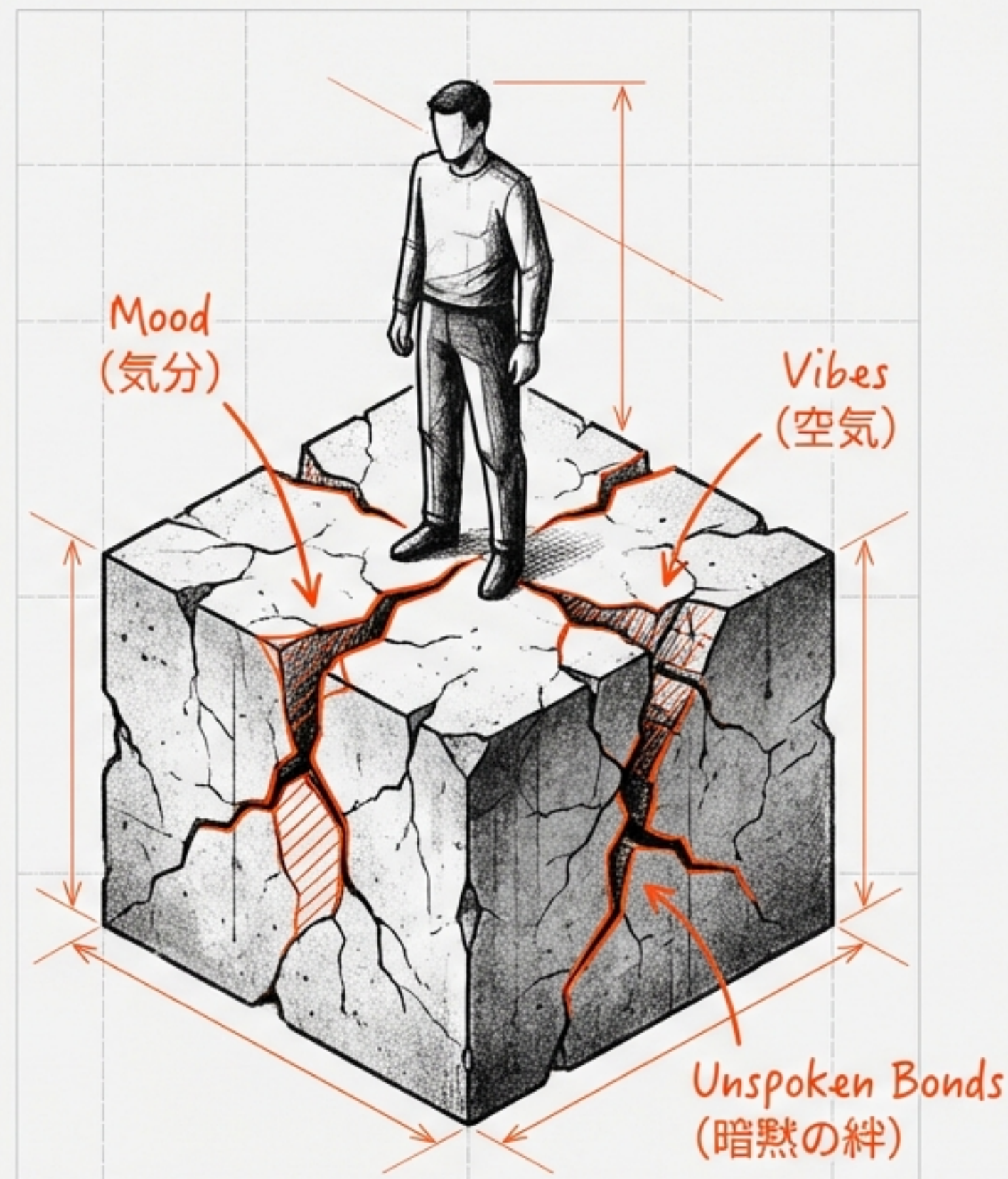
信頼は「ロマン」ではない。「インフラ」だ。

感情論を捨て、最強の人間関係を「設計」する技術



「信頼関係って、 美しいものだよね」 と思ったあなたへ。

その「美学」こそが、実は人間関係を脆くしている最大の原因かもしれない。
もしあなたが信頼を「絆」や「思いやり」という曖昧な言葉で定義しているなら、
少し立ち止まってほしい。



「美しい信頼」を信じる人が陥る3つの罠

ルールなき信頼は、ただの「甘えの共有」になりかねない。

1. 被害者化する

「信じていたのに…」と嘆くことしかできない。



3. 人格批判に逃げる

仕組みの不備ではなく、「人としてどうなの？」という感情論にすり替える。

2. 期待だけが膨らむ

事前の合意がないまま、勝手な期待を寄せてしまう。

[これは「心の問題」ではない。「仕様定義のミス」だ。]

多くの人が人間関係のトラブルを感情で処理しようとして、バグ（揉め事）を無限ループさせている。

SYSTEM ALERT

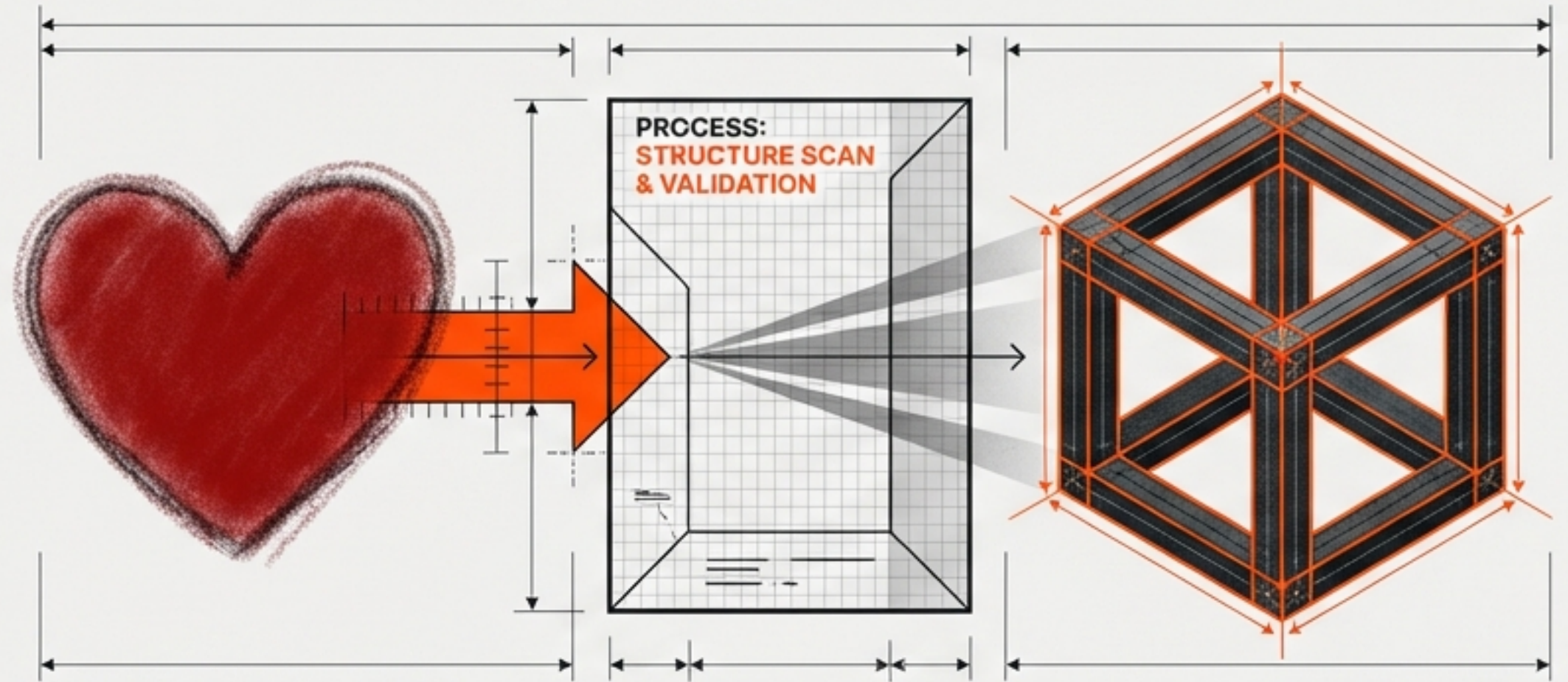
FATAL EXCEPTION: EMOTIONAL_OVERFLOW

- > System cannot handle undefined expectations.
- > Recommendation: **Define Load Limit & Error Handling.**

「なんとなく良さそうなシステム」は必ず**ダウン**する。「**負荷限界**」と「**エラー時の挙動**」が**定義されていない**システムは、**ユーザーを裏切る**。人間関係も同じだ。

信頼の正体 = 契約関係

冷たく聞こえるかもしれない。
だが、これが最も誠実で、
最も壊れにくい信頼の正体だ。
契約の言語化から逃げる
ために「美しさ」を利用し
てはならない。



信頼 $\neq$ 温度 (どれだけ温かいかな)
信頼 $=$ 構造 (どれだけ再現可能かな)

構造的信頼を支える「4つの柱」

本当の信頼とは、以下の4点が合意されている状態を指す。

01.

EXPECTATION

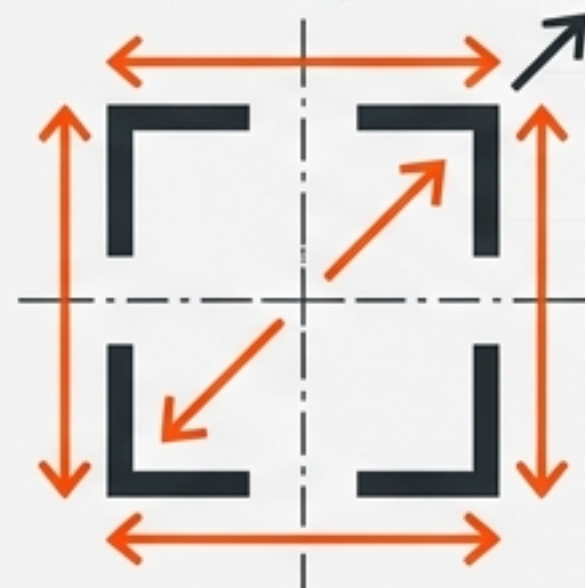
何を期待しているのか？



02.

SCOPE

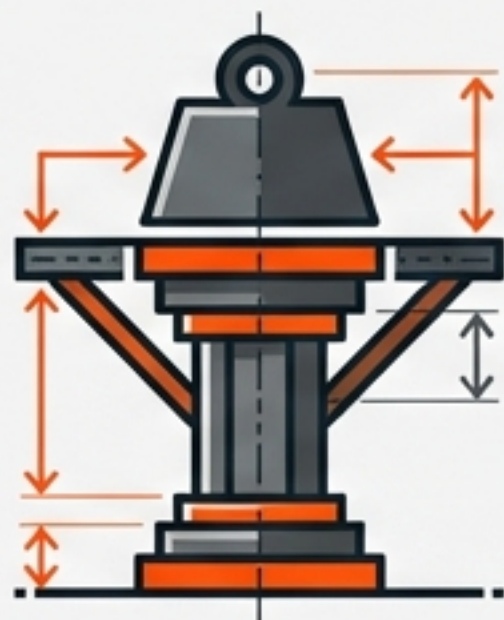
何をやる／やらないのか？



03.

RESPONSIBILITY

どこまでが責任範囲か？



04.

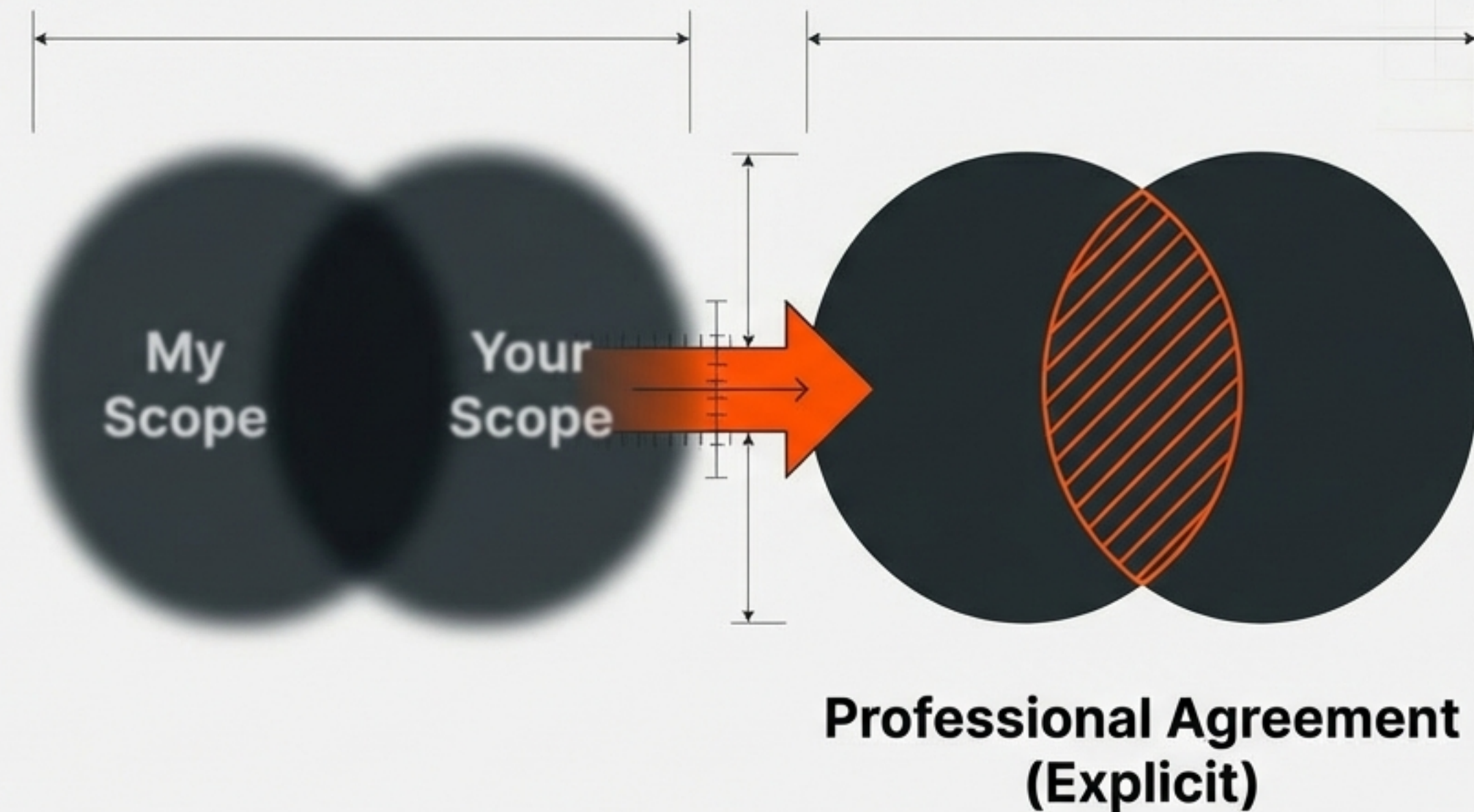
PENALTY / FIX

破ったらどうなるのか？



「言わなくてもわかる」は、業務怠慢だ。

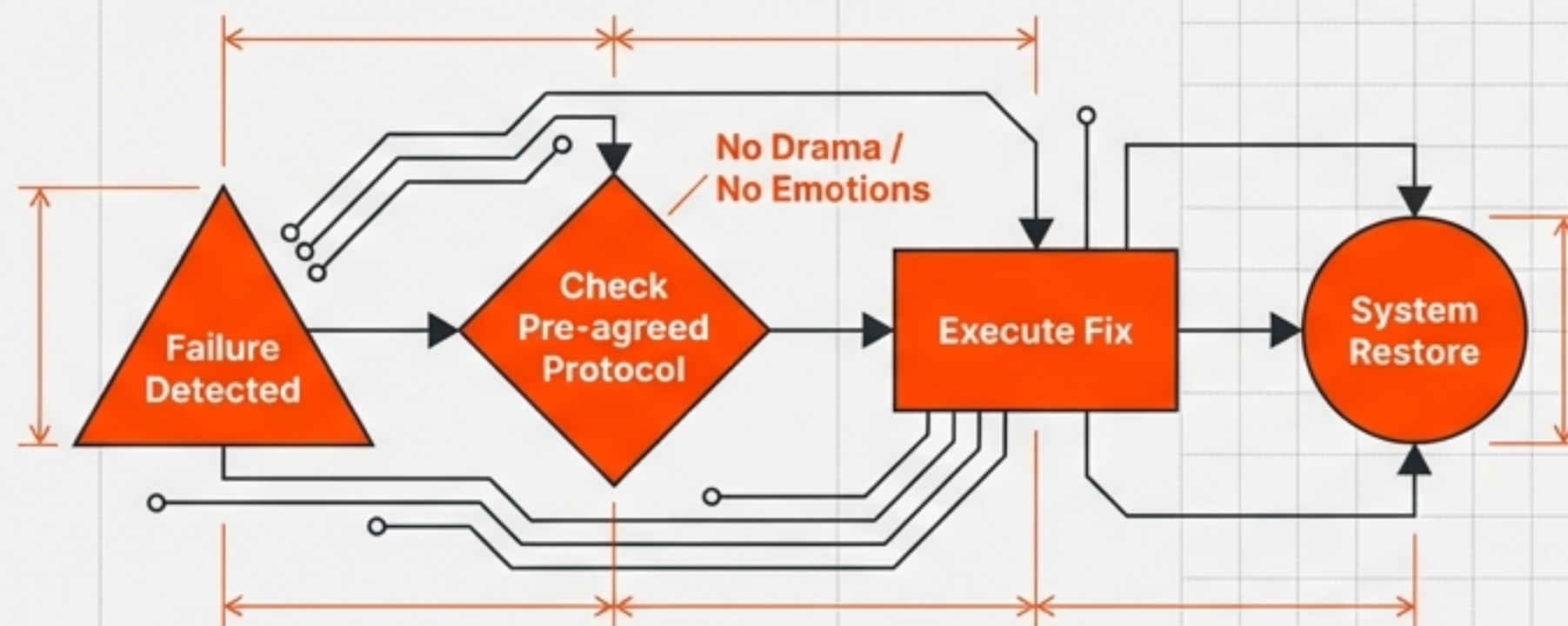
「なんとなく」で始めず、
期待値を調整する勇気を持て。
好き嫌いではなく、
やるかやらないか。
やるかやらないか、
やるかやらないか。
その境界線を引くことが、
その境界線を引くことが、
相手を守る最初の防壁になる。



バグが起きた時の 「処理」を決めておく。

合意を破った時どうするか？

それは悲観主義ではなく、危機管理だ。
感情的な「謝罪」ではなく、システムの
「修正 (Fix)」を定義せよ。



FOCUS: TRUST AS A CONTRACT

信頼とは「好き嫌い」ではない。「履行率」だ。

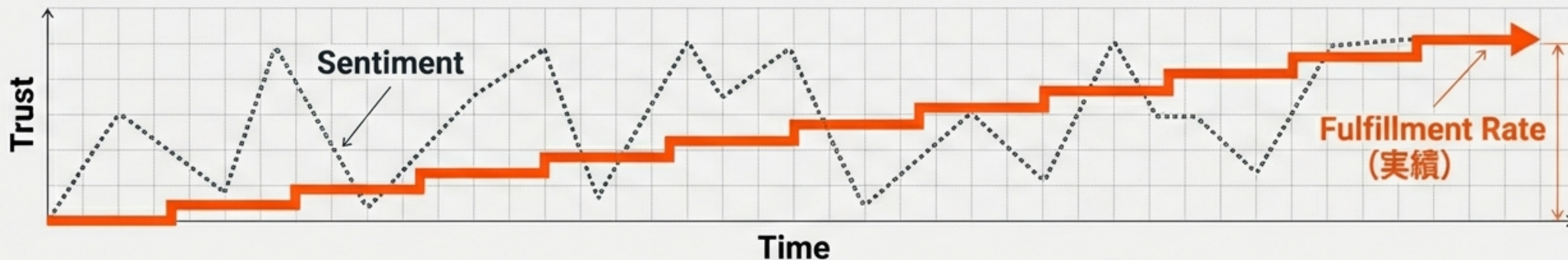
信頼関係を「契約」と理解している人こそが、逆説的に「最も温かく、裏切らない関係」を築くことができる。

ロマン派 (The Romantic)

- 感情で動く (Driven by emotion)
- 期待させる (Creates vague hope)
- 謝罪する (Apologizes)

インフラ派 (The Infrastructure Builder)

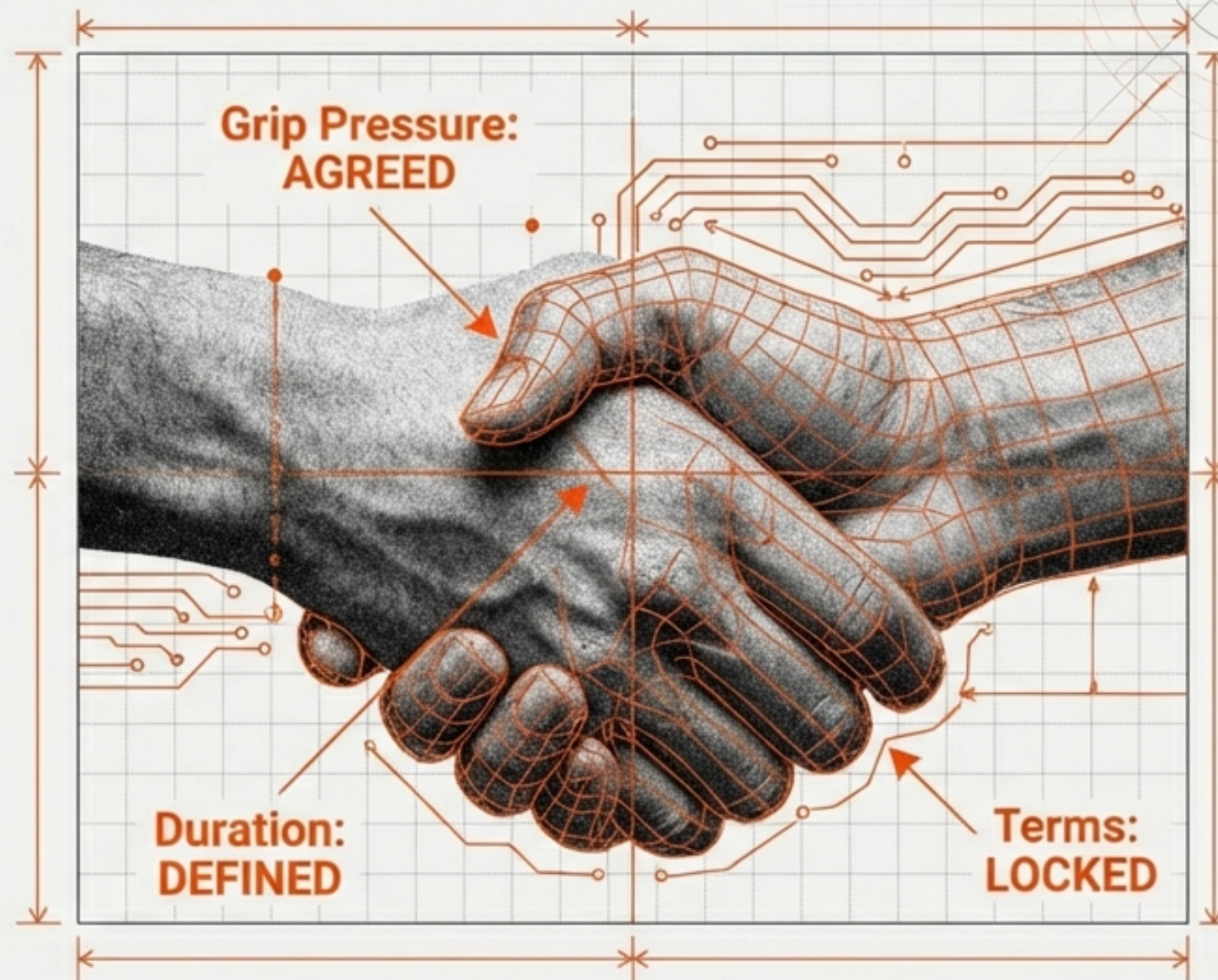
- 行動で動く (Driven by action)
- 合意する (Creates agreement)
- 修正する (Fixes)



Action 1: 最初に 条件をすり合わせる

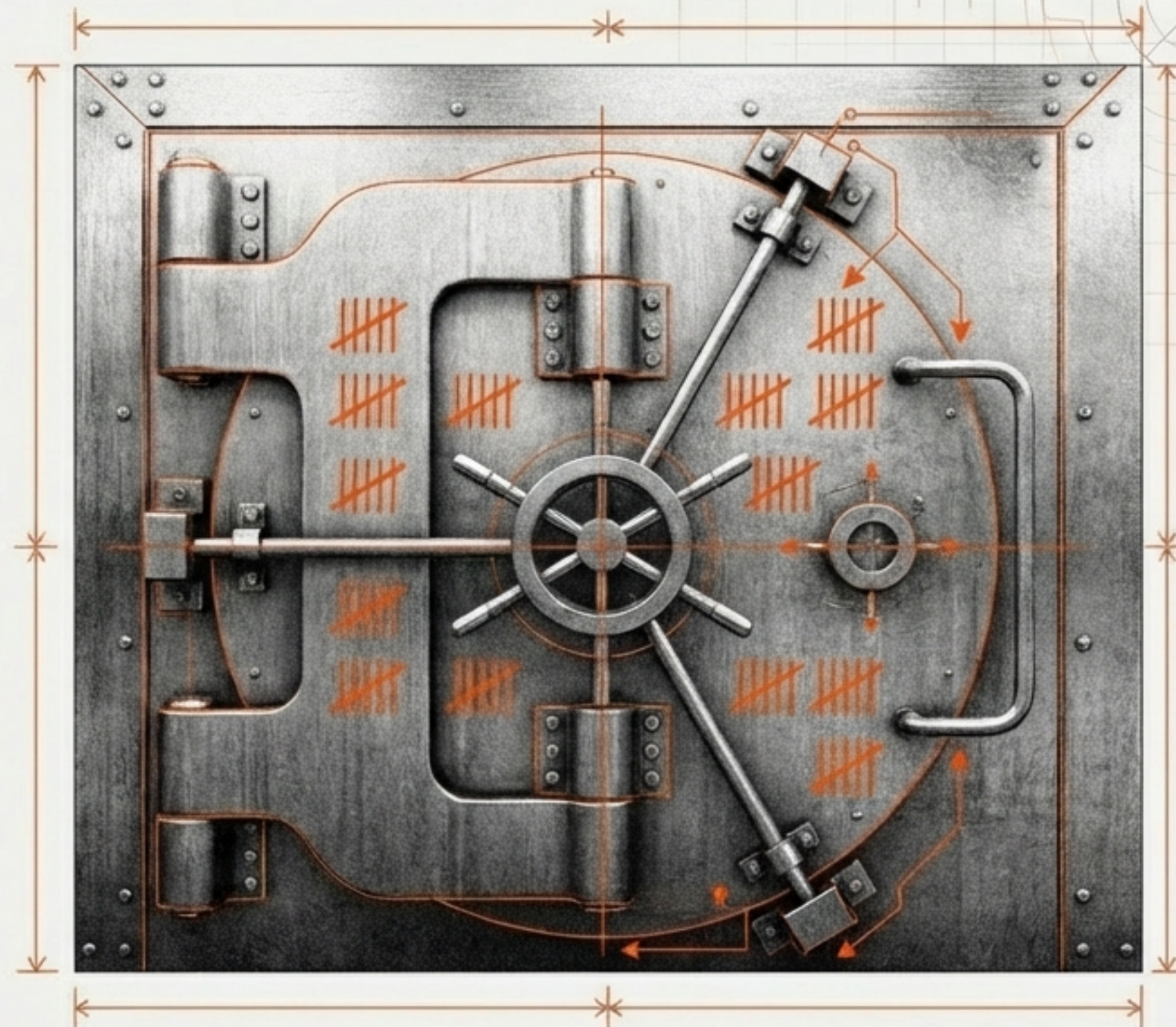
良い顔をして「できます」と言うのは
優しさではない。期待値を調整する
勇気を持とう。

「仕様書」を書くことから始めよう。



Action 2: 不利な契約でも守る

一度合意したなら、感情や状況に左右されてはならない。たとえ自分が損をしても履行する。
その一貫性だけが、あなたの「信頼残高」を積み上げる。
言葉ではなく、実績（トラックレコード）を作れ。



TRUST BALANCE SHEET

Action 3: 守れなかった時は 「説明と修正」を出す

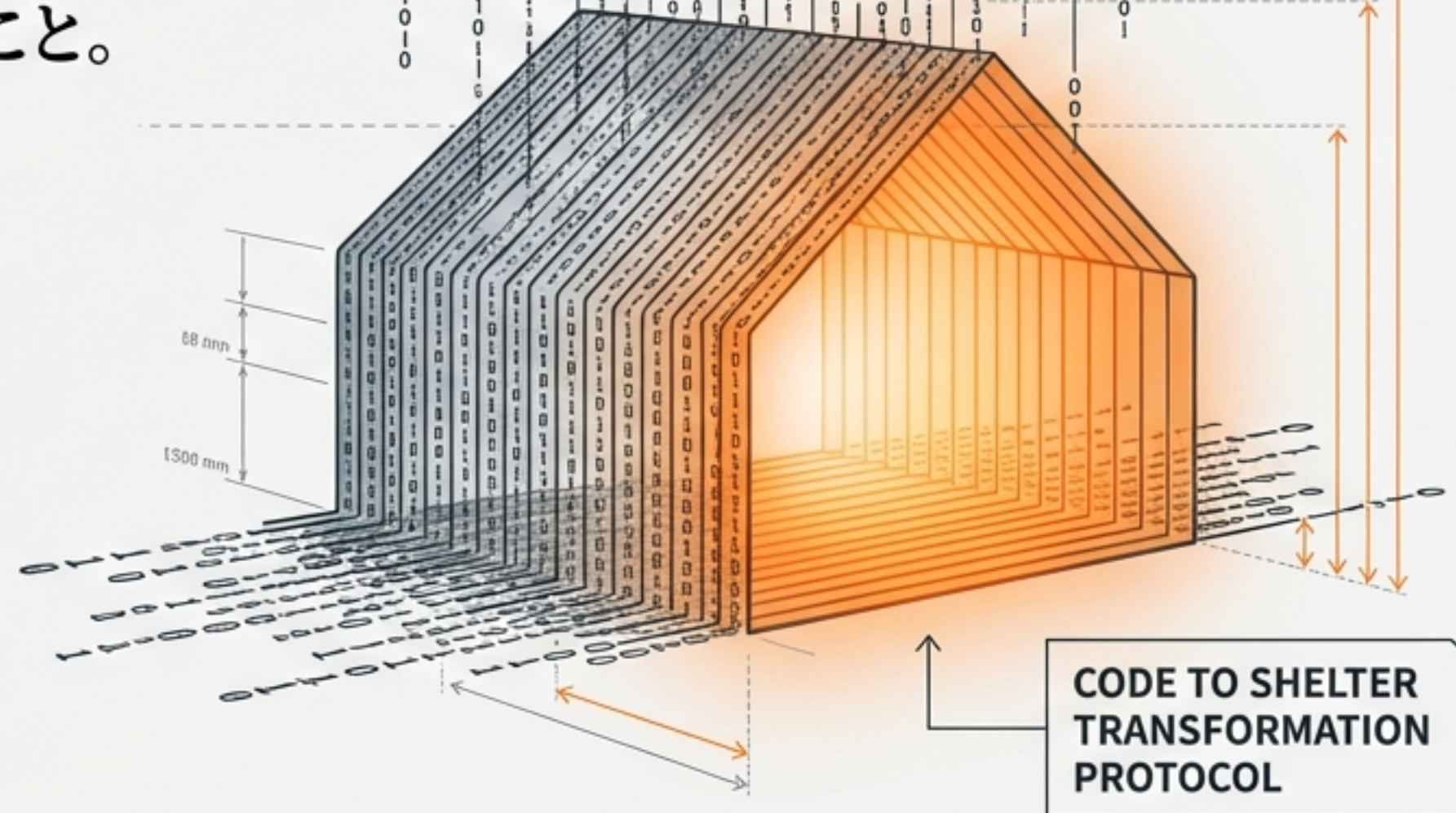
謝罪という「感情パフォーマンス」はいらない。必要なのはリカバリー策という「行動」だ。

信頼でできる人は、泣いて詫びる人ではない。淡々と原状回復し、再発防止策を提示できる人だ。



行動というソースコードで、 信頼を記述せよ

感情というブラックボックスに依存しないこと。
これこそが、現代における最もクールで、
かつ温かい「愛」の形だ



人間力 = 技術（スキル）

幸福を「運」任せにするな。
「再現可能な状態」に設計せよ。

「美しい信頼」を夢見る
人は、信頼を壊した経験
が少ないのかもしれない。
壊れない信頼を作りたい
なら、まずは「設計」
から始めよう。

(Noto Serif JP)



信頼はロマンじゃない。
インフラだ。

壊れない関係を、その手で設計せよ。